

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	E-02	講座名	水の歴史資料館で学ぶ名古屋の下水道と大雨・防災
記載日		団体名・企業名	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館

〈講座全体の概要〉(300字程度)

日本で最初に活性汚泥法による下水処理を始めた名古屋の下水道。下水道は、私たちが使った水(汚水)をきれいにして、川へ戻すという、水環境を守るという役割の他にも、大雨による浸水からまちを守り、私たちの安心・安全な生活を確保するといった大切な役割を果たしています。下水道について、下水道に流してはいけないものの実験や、下水道と大雨・防災に関する座学、施設見学などを通じて、学習でき、ご家庭や地域の防災力アップにもつながる講座としました。



※写真1の説明 7月2日 第1回 下水道の役割 下水道に流してはいけないものの実験をしました。	※写真2の説明 8月6日 第2回 大雨からまちを守る 防災に関する展示を見学しました。 下水道の実験の様子です。
---	---

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

受講される方々の学習意欲が高く、質問される方も多く、企画・運営する側にとっても、やりがいのある講座です。計3回の講座で、下水道全般について学べるため、全回数受講される方が多かったですが、個別受講も可能としたため特定の内容を目的に受講された方もいました。

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、定員を縮小し、グループでの実験や、受講者が実際の器具を手にとっての作業体験は見合わせましたが、講義のやり方などを工夫して実施しました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

・水は無くしてはならない資源これから大切にしたい。下水処理が正しく行われることで飲み水の安心安全が保たれていることがわかった。実験が具体的でよかった。生活上必須インフラである上水、下水については、殆ど理解していなかったので初歩的な内容であっても参考になりました。(第1回)

・名古屋市防災アプリがあることを知りました。地下式給水栓の説明や震災用マンホール(トイレ)など実際に使う可能性のあるものを体験できよかったです。水道の事が勉強出来てハザードマップ等の利用のしかたや見かたが良くわかった。(第2回)

・トイレの対応について家での対応を家族で学びたいと思います。避難先のトイレの場所を(マンホール)確認したいと思います。(第3回)